なっとくんの　２０１３年１１月　６日　No.５０

祝 50 号！2013 年 5 月～

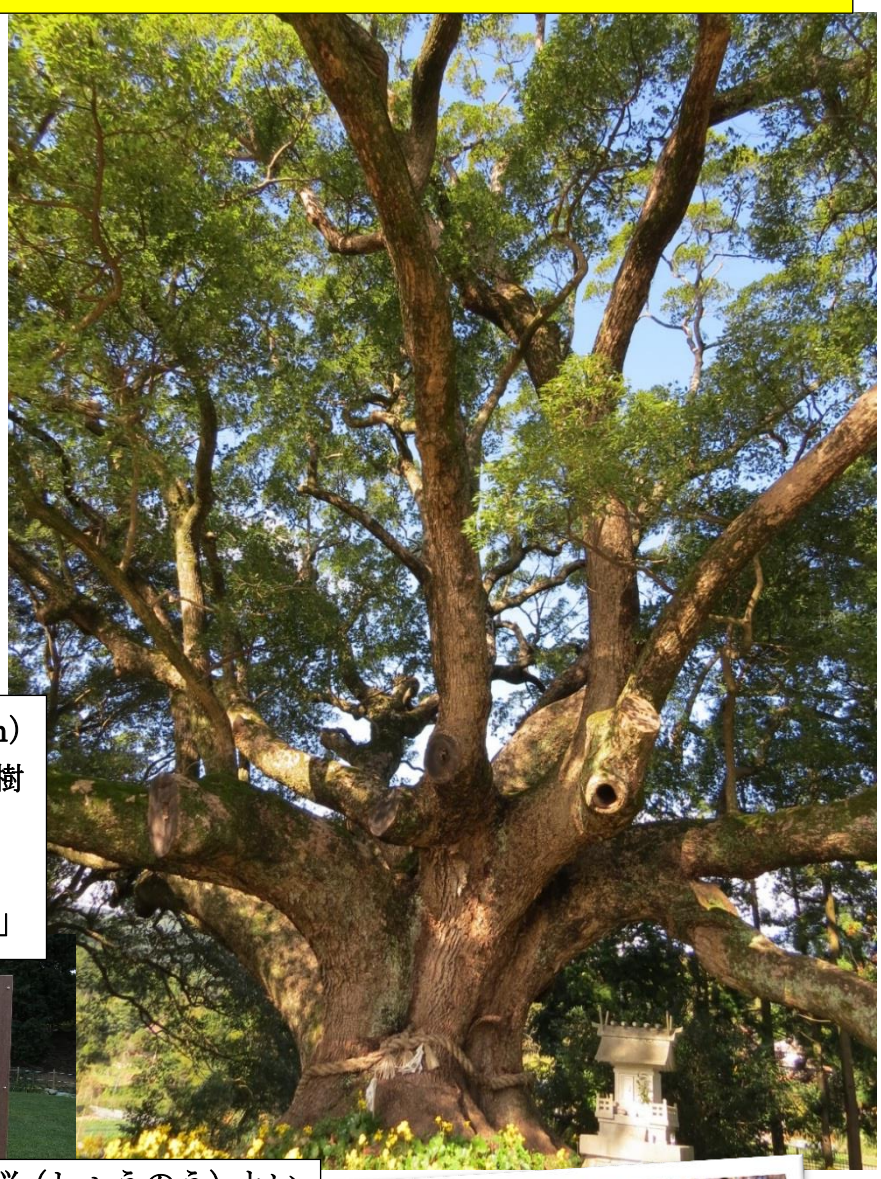
なるほどなっとくニュース

県立山口博物館

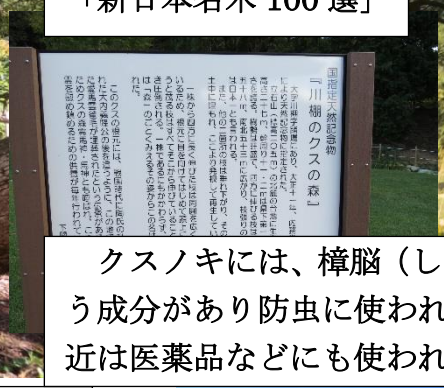
学校地域連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館のホームページでダウンロードすることができます。

一本でも「森」？　でも、見たら納得！圧巻の「川棚のクスの森」

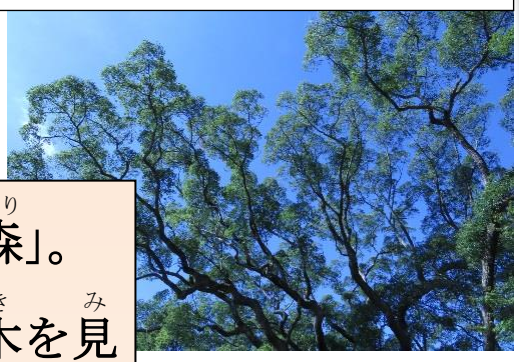


目通り（高さ 1.2m）での幹周り 11.2m、樹高 27m、枝張り東西 58m、南北 53m、「新日本名木 100 選」



クスノキには、樟脳（しょうのう）という成分があり防虫に使われてきました。最近は医薬品などにも使われています

元の木も巨大ですが、周辺にはさらに分身とも言える木が育っていて、さらに独特な景観をつくっています。



クスノキにつく巻き貝のシーボルトコギセルがいました。

下関市豊浦町にある「川棚のクスの森」。

一本の木なのになぜ「森」？　それは、木を見ればすぐにわかります。たしかに「森！」。国指定天然記念物の貫禄十分です。樹齢約1000年で、枝張りの幅が 58m もあるのは日本一だそうです。しかも葉がたくさんあり、とても元気！・・いや、そんなことよりとにかく自分の目で見てほしいと思いました。(10/21)

山口県の最西端！・・ということは

下関市吉母（よしも）の本州最西端「毘沙ノ鼻」（びしゃのはな）から見た景色

北緯 34 度 6 分 38 秒、東経 130 度 51 分 37 秒。山口県の最西端ということは、本州でも最西端ですね。